

校内における新型コロナウイルス対応策～学習編～ (R2. 5. 27)

落合東小学校

感染のリスクを伴う学習活動とは？

- ・ 児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等
- ・ 近距離で一斉に大きな声で話す活動

接触

密集

~~近距離での活動~~

向かい合っでの発声

《たとえば・・・》

理科

- ・ 児童が近距離で活動する実験や観察

音楽

- ・ 室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏

図画工作

- ・ 児童同士が近距離で活動する工作等の表現や鑑賞の活動

家庭科

- ・ 児童同士が近距離で活動する調理実習

体育

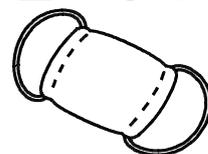
- ・ 児童が密集する運動
- ・ 近距離で組み合ったり接触したりする運動

○これらの活動については、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして実施します。

○アンダーラインの活動は、特に感染のリスクが高いことから、当面の間は実施しないこととします。

リスクを伴う活動に、どう対応するか？

- 1 個人の学習道具の貸し借りはしない。
- 2 学習用具を共用で使用する場合は、使用前後の手洗いを徹底する。
- 3 体育の授業は、可能な限り屋外で実施する。ただし気温が高い日などは、熱中症に注意する。
- 4 体育の授業においてマスクは着用しなくてよいこととする。(十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクが指摘されているため)



《授業前》

- マスクをしたまま手洗いをする。
- 教室でマスクを外し校庭へ出るまで、児童間の距離をあけて移動する。(廊下を走らない。)
- 児童は不必要に会話や発声を行わない。

《授業中》

- 児童の間隔を十分に確保する。
- 可能な限り屋外で実施する。
- 体育館など屋内で実施する必要がある場合は、呼吸が激しくなるような運動をしない。
- 体調が優れない児童の参加は見合わせる。見学時はマスクを着用する。
- 教師は、原則として体育の授業中もマスクを着用する。(ただし模範演技など身体へのリスクがある場合は外してよいが、児童との距離を十分に確保する。)
- 接触や密集となる運動については当面実施せず、年間計画の指導の順序を入れ替える。

《授業後》

- 外の水道・教室付近の水道に分散し、丁寧にうがい・手洗いをする。
- 児童間の距離を十分にあげ、不必要な会話をせず教室まで移動し、マスクを着用する。



- 5 水泳の授業は、水中感染のリスクは低いと指摘されているが、更衣室の使用や複数の児童が組になる学習形態など、密集・密接の場面が想定されるため、行わない。

